

JVMA通信

■ No.27 (2018年1月号) ■

(発行元)

Japan Valve Manufacturers' Association

一般社団法人日本バルブ工業会

TEL: 03-3434-1811 FAX: 03-3436-4335

E-mail: info@j-valve.or.jp

URL: <http://www.j-valve.or.jp>



新年賀詞交歓会開催報告

■新年賀詞交歓会の開催

開催日時: 2018年1月16日(火) 15:00~16:30

開催場所: 東京・八芳園 1階 ニュイ

出席者数: 160名 (来賓: 42名、会員: 118名)

◆式次第◆

会長挨拶: 中村 善典 会長

来賓代表挨拶: 岡本 繁樹 氏

(経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長)

乾杯: 前田 康雄 副会長・東海支部長

中 づ め: 中村 政弘 副会長・近畿支部長



“ばるちゃん”が来場者をお出迎え

去る1月16日(火)、東京・八芳園において、当会「新年賀詞交歓会」が開催された。

会の冒頭、中村会長及び、来賓を代表して岡本素形材産業室長より、それぞれ挨拶をいただいた。



◆中村会長挨拶概要◆

今後、製造業の内需は縮小傾向にあり、グローバル化していく中、人材不足などの大きな壁がある。時代が大きく変わっていく中、我々は AI, IoT などを活用した技術革新と、新しいマーケットの開拓、この二つをうまく回していくような企業体質に改善していかなければならない。新しい時代への変革の中で、工業会が会員各位のお役に立つために、時代に即したものに作り直していく必要があり、果敢に挑戦していきたい。

その一つとして、工業会では昨年12月に、女性人材の活躍促進について審議するWGである「バルブ女史PJ(プロジェクト)」を発足し、女性にとって働きやすい環境づくりについての取組を始めている。

【中村会長(上)と 岡本室長(下)】



◆岡本素形材産業室長ご挨拶概要◆

政府の統計で経常利益の年度推移を見ると、中小製造業は緩やかな右方上がりではあるが、利益の出方が低いことが分かる。対処策としては、売上高を伸ばすか、もしくは費用抑えるかのどちらかである。売上を伸ばすためには、海外に目を向けるか、「コネクテッド・インダストリーズ(IoT や AI などの活用で労働生産性を上げる)」の活用ということが挙げられる。昨年12月に平成30年度予算と29年度の補正予算案が閣議決定されており、その中に生産性を上げるための政策プログラムが複数含まれているので、是非ご活用いただきたい。

また、 unnecessary 費用を低く抑えるということ言えば、手形での取引を現金化していく、「型管理」の適正な取り扱いなど、素形材産業室のみならず経済産業省及び内閣全体で取り組んでいる。

バルブのキャラクター「ばるちゃん」を活用した広報活動については、明るくなる話題で非常に楽しく思う。



当日は、我らが“ばるちゃん”も出席し、来場者の方々からの撮影依頼に、かわいらしいポーズで応えていた。



年頭のご挨拶

■ ■ ■ 年頭所感 ■ ■ ■

一般社団法人日本パルプ工業会 会長 中村 善典



平成30年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

工業会会員並びに関係各位には、平素から多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、予想し得なかった米国大統領選挙から誕生した新大統領による、北朝鮮との対立姿勢に危機を感じ、中東に新たな紛争要因をもたらしたエルサレム問題に世界平和への不安を感じましたが、経済面では、米国の力強さとEU経済の復活と世界的景気回復を感じさせる1年でした。

一方日本経済は、米国の影響と安倍政権の経済対策により経済環境が改善され、高度経済成長期の「いざなぎ景気」を超えた戦後2番目に長い景気回復期にあります。企業収益は最高益の記録を塗り替え、日経平均株価が26年ぶりの高値を付け好転し、消費者心理も改善してきていることが各統計からもうかがえます。しかしながら、実感としては感じられていないと言ったところが大方の意見ではないでしょうか。景気が回復しても、実感出来ないのは何故でしょうか。

また昨年は、相次ぐデータ改ざん問題が発覚。日本の製造業に綻びが生じ、多年に渡り築いてきた、日本技術の信頼性を揺るがす事態となりました。多くの人達が、カイゼンを出し合い、コストダウンを考え、より良いモノ作りに取り組み努力してきました。何故このような不祥事が起こるのか？と疑問を持ちながらも、日本の労働生産性に目を向ければ、先進7カ国の中で最下位にある日本の製造業。

景気成長期にあり、国民生活満足度調査では満足と回答した数値が73%にも達しながら、それを実感出来ない！一説に言われる「ぬるま湯心理」。日本の製造業は、コツコツとカイゼンに取り組んできましたが、それが限界に直面した現実。

成長か衰退かを問われる新たな課題が生まれた昨今、これら実態を飛躍のきっかけとすべく、大胆な発想の転換が必要不可欠となり、経営の力が問われる時代となりました。

製造業が主体である当工業会も、他人事であるとは思わずに向き合っていく必要があります。製造業こそ変革が必要であり、それは日本の製造業の匠な技術、現場の力を、時代の変化に合わせて復活させられる経営の力が鍵となるのではないのでしょうか。

確かに時代の変化は感じていても、どこから取り組めばいいのかと言ったところが、各企業の実感だと思えます。このような時代の到来には、一社単独ではなく、企業間のネットワークとコラボレーションが重要になると考えます。パルプ工業会として、新たな役割を果たせるよう取り組んでまいります。

当工業会は、一般社団法人日本パルプ工業会として組織の再編を図り、運営会議を中心として最初の一步を踏み出してから、一年弱が経過しました。これからも私たちは、時代の変化に立ち向かい、新しい挑戦に取り組まねばなりません。日本パルプ工業会業界一丸となって邁進すべく、本年も取り組んで参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

最後に、皆様の益々のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年賀詞交歓会で「ばるちゃん」と
(2018年1月16日 於:八芳園)



■□■ 年頭所感 ■□■

経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長 岡本 繁樹



平成30年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

我が国経済は、第2次安倍内閣が発足した平成24年12月から始まった景気拡大の期間が、高度成長期の「いざなぎ景気」を超えるまでになりました。長期にわたる景気回復により、企業収益は過去最高水準を記録するとともに、4年連続で高水準の質上げを達成しました。

しかし、将来に目を向けますと、我が国は、少子高齢化という社会構造の変化により、内需の成熟化、労働力人口の減少に伴う働き手不足、期待成長率の低さによる国内投資の伸び悩み等、困難な構造問題を多く抱えております。

我が国のものづくりの基盤である素形材産業としても、生産実績については、リーマンショックの影響により大きく落ち込んだ後、平成28年以降、ゆるやかな上昇傾向となっているものの、エネルギーコストの高止まりや原材料価格の高騰、取引構造上の課題等、引き続き取り巻く事業環境は厳しく、また、アベノミクスの効果により企業収益は大企業を中心に伸びている中であって、中小企業、なかでも中小製造業は低迷しています。

こうした状況を踏まえ、まずは、取引条件の改善とともに、サプライチェーン全体にわたる付加価値向上に向けた取組が重要と考えております。昨年は、適正な取引を推進するための「素形材産業取引ガイドライン」の改訂を行い、これらの取組を先導する素形材業界の方々によって、ガイドラインを自主的な取組として実践していくための「素形材産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画」が策定され、各業界において積極的に取り組んでいただきました。さらには、「未来志向型・型管理の適正化に向けたアクションプラン」を取りまとめました。これは、自動車・素形材業界のサプライチェーン全体における議論にてとりまとめられた経緯から、発注者・受注者双方による公正な取引環境の実現に向けた大きな一歩となることを期待しております。本年も、これら各種ツールを多くの皆様にご活用頂くための周知活動をはじめ、関係業界の皆様と連携させて頂きながら、取組を進めてまいります。

次に、素形材産業の各企業が有する、世界トップクラスの技術力、生産管理力を活かし、これからの激しい変化や高まる不透明感の中にあっても、「稼ぐ力」を発揮しつづけられるよう、具体的な取組を着実に進めて頂くことが益々重要となります。昨年とりまとめられた“素形材産業を含めた製造基盤技術を活かした「稼ぐ力」研究会”の成果を踏まえると、素形材企業の方々が持っている技術や強みを、他社企業に訴えていくことが必要と言えます。それを円滑に実施するための手段の一つとして、ユーザー目線で自社の技術や強みを説明する共通言語のようなものがあればお互いに迅速かつ的確に理解できるのではないかと考え、実際にどうすればそのような言語化が可能か、検討してまいります。

関連して、経済産業省では、第四次産業革命において、我が国が目指す産業の在り方として「Connected Industries」というコンセプトを打ち出しております。これは、様々な業種、企業、人、機械、データをつなげて、AI等により、新たな付加価値や製品・サービスを創出、生産性の向上を促すことで、先述の構造問題等の社会課題に対応し、産業競争力の強化を図っていくというものです。

素形材産業室としましては、業界関係者、大学をはじめとする各界と密に連携させて頂きながら、「稼ぐ力」に向けた先進事例の共有、海外ミッションの実施、各種支援策の活用促進をはじめとして、素形材産業の皆様による挑戦を後押ししてまいります。

また、次世代型産業用の積層造形技術(3Dプリンタ)の研究開発プロジェクトにおいては、最終年度を迎えることとなりますが、我が国素形材産業の競争力向上に活用して頂けるよう、目標に掲げた世界最高水準の成果を追求してまいります。

平成30年の干支は戌。イヌは古くから人類と共存してきた最も親しい動物と言えます。戌は万物畢く成る、“収穫”の象徴です。この戌年に皆様方が多くの収穫を得ていただきたいと思います。

末筆ながら、本年の皆様のご健康と御多幸を、そして我が国素形材産業の着実な発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



活動報告

■バルブ女史PJ（プロジェクト）が始動！

当会では、研修委員会における人財育成の取組の一つとして、会員企業の女性社員だけで構成し、女性の活躍促進について審議するWG「バルブ女史PJ（プロジェクト）」を創設した。

第1回ミーティングを昨年12月に開催し、各社における現状の課題、好事例などについて意見交換を行った。

バルブ業界で働く女性が、会社に貢献しながらも、いきいきと働き続けるためにはどうしたらいいのかについて審議を重ね、提言書としてとりまとめを行う予定。



第1回ミーティングの様子：2017年12月21日(木)

関係官庁・団体からのお知らせ

■コネクテッド・インダストリーズ税制 について ～IoT 投資の抜本強化～ 【経済産業省】

経済産業省は、IoT・ビッグデータの成長、人工知能（AI）の進化といった第四次産業革命の進展の中で、様々な「つながり」によって新たな付加価値の創出や社会課題の解決をもたらす産業の未来像「Connected Industries」を推進している。

◆コネクテッド・インダストリーズ税制の制度概要

一定のサイバーセキュリティ対策が講じられたデータ連携・利活用により、生産性を向上させる取組について、それに必要となるシステムや、センサー・ロボット、工作機械等の導入に対して、特別償却30%、又は税額控除3%（賃上げを伴う場合は5%）を措置。事業者は、当該取組内容に関する事業計画を作成し、主務大臣が認定。

認定に含まれる設備に対して、税制措置を適用。（適用期限は、平成32年度末まで）

◆参考資料

- IoT 税制について <https://j-valve.or.jp/cms/wp-content/uploads/2017/11/iot.pdf>
- 事例集 https://j-valve.or.jp/cms/wp-content/uploads/2017/11/jirei_iot.pdf
- IoT 税制に関するQ&A https://j-valve.or.jp/cms/wp-content/uploads/2017/11/qa_iot.pdf



■5分でできる！情報セキュリティ自社診断シート・パンフレットのご紹介
【(独) 情報処理推進機構 (IPA)】

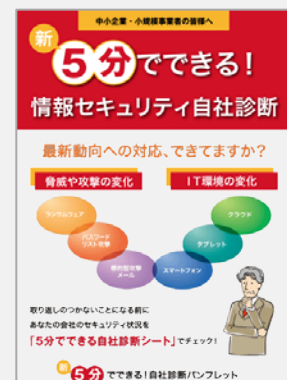
自社における情報セキュリティ対策のレベルを数値化し、問題点を見つけるためのツールのご紹介。（診断シートで簡単にチェック可能！）

◆会社でのちょっとしたミスから大きな問題に！

- ・お客様の情報が漏洩し自社の信用が急降下
- ・お客様にウィルス付きのメールを送信して取引停止の危機
- ・新製品に関するデータを紛失。発売が大幅延期により売上に影響が、、、など

IPA web サイト（自社診断シート・パンフレットの入手はコチラから）

<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/guideline/5minutes.html>



工業会活動報告 (2017年11/21~2018年1/29)

理事会

・第19回理事会

2018-01-16(火) 於:八芳園

出席者:9名

- (1) 新年賀詞交歓会開催計画(案)承認の件
- (2) 第6回通常総会開催計画(案)承認の件
- (3) 会員企業の入会(正会員1社)、退会(賛助会員1社)承認の件
- (4) 若手社員研修会収支報告承認の件
- (5) 2017年度中間(4~9月)収支報告及び事業報告等について
 - ・2017年度決算中間報告
 - ・2017年度事業中間報告/今後の主な予定
- (6) 工業会職員1名の採用承認の件
- (7) 規程改正について
- (8) 役員退職引当金の運用について
- (9) 2018(H30)年度の事業計画等について
 - ・2018年度理事会及び運営会議開催日程(案)
 - ・2018年度新規事業計画の概要(案)
 - ・2018年度予算編成の考え方
 - ・2018年度規程改正(講師料支給、功労賞、就業規則)
 - ・組織名称変更

(10)その他

バルブ部会

◎電力用分科会

2017-12-14(木) 於:機械振興会館

出席者:10名

主要審議事項:

- (1) 関係市況動向について
- (2) 見学会開催について

◎建築用分科会

2017-12-08(金) 於:ホテルメルパルク大阪

出席者:13名

主要審議事項:

- (1) 造船市場の動向について
- (2) 近畿地区の造船船用工業の動向について
- (3) 標準化の動向について

自動弁部会

◎見学会

2017-11-28(火)

見学先:オーエヌ工業(株) 本社工場

参加者:8名

◎部会

2017-11-28(火) 於:津山国際ホテル

出席者:名

主要審議項

- (1) 自動部会事業活動案の検討
- (2) 各種報告

水栓部会

◎給水栓標準化小委員会

2017-11-24(金) 於:東京/TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:14名

2017-12-26(火) 於:東京/TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2061(給水栓)の改正について
- (2) 節湯水栓基準の動向について
- (3) ISO 節水規格の国際投票への対応
- (4) 環境省 COOL CHOICE 事業への対応

◎保証小委員会

2018-01-17(水) 於:東京/TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:8名

主要審議事項:

- (1) 「水栓金具の安全確保のための表示に関するガイドライン」の改正
- (2) 水栓に係る工業会 HP 掲載内容の見直し
- (3) 他団体との交流について

◎技術小委員会

2017-12-06(水) 於:東京/TOTO(株) 汐留ビルディング

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) 国内外の物質規制動向について
- (2) ニッケルの水質基準化への対応について

広報委員会

2017-12-20(水) 於:機械振興会館

出席者:6名

主要審議事項:

- (1) 第7回バルブフォト五七五コンテストについて
- (2) ゆるキャラグランプリについて
- (3) 「バルブの日」新聞企画について
- (4) 学生論文コンテストについて
- (5) 来年度の広報活動の方向性について



技術委員会

2017-12-05(火) 於:機械振興会館

出席者:13名

主要審議事項:

- (1) 環境WGの活動進捗について
- (2) パルプ関連 国内・国際標準の動向について
- (3) 2018年度 若手社員研修会について
- (4) 2018年度 技術研修会について
- (5) 技術委員会の中期計画について

◎環境WG

2018-01-18(木) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 来年度の組織変更について
- (2) 環境関連情報 17.10月～18.1月分についての報告
- (3) 今後の活動方針について

パルプ技報編集委員会

2018-01-19(金) 於:機械振興会館

出席者:7名

主要審議事項:

- (1) 通巻第80号の原稿について
- (2) 通巻第81号の特集テーマについて

研修委員会

◎パルプ女史PJ

2017-12-21(木) 於:機械振興会館

出席者:9名

主要審議事項:

- (1) 組織設立の目的共有と組織名の審議
- (2) 女性人材の活躍促進のための審議

JIS B 2003 追補原案作成委員会

2017-11-01(水)～12-15(金) 書面審議

出席者:16名

主要審議事項:

- (1) JIS B 2003 追補原案及び解説案について

ISO/TC153 国内委員会

2017-12-12(火) 於:機械振興会館

出席者:14名

主要審議事項:

- (1) ドイツ国際会議について
- (2) ISO規格の国際投票について

ISO/TC185 国内委員会

2017-12-08(金) 於:機械振興会館

出席者:1名

主要審議事項:

- (1) ドイツ際会議について
- (2) ISO 格の国際投票について
- (3) API規格の動向について
- (4) 水バイナリ発電について

講習会・説明会

◎安全保障貿易管理説明会

2018-01-22(月) 於:機械振興会館

参加者:24名

テーマ:「安全保障貿易管理について」

講師:藤村 和弘 様

(経済産業省 貿易管理部安全保障貿易審査課)

テーマ:「法令遵守のポイント」

講師:田村 典之 様

(経済産省 貿易管理部安全保障貿易検査官室)



支部だより



各支部での新年会開催状況

■東海支部 新年祝賀会

日 時：2018年1月25日(木) 18:00～
場 所：岐阜グランドホテル
出席者：14名（会員：13名、事務局：1名）



■彦根支部 新年会（滋賀バルブ協同組合と共催）

日 時：2018年1月19日(金) 18:00～
場 所：やす井
出席者：29名（うち、彦根支部会員：14名）



■近畿支部 新年互礼会

日 時：2108年1月19日(金) 17:00～
場 所：大阪新阪急ホテル
出席者：54名（会員：44名、来賓：10名）



近畿経済産業局 坂本製造産業課長(左)と
中村近畿支部長(右)

彦根支部

○支部会議および忘年会

2017-12-08(金) 於：やす井

出席者：11名

主要審議事項：

- (1) 滋賀バルブ協同組合 30周年記念式典について
- (2) 来年度スケジュールについて

会員の動向

代表者変更（敬称略）

- ・東亜バルブエンジニアリング(株)
2017年12月 代表取締役社長 笹野 幸明



■■■ 会員企業の皆様へ ■■■

～（一社）日本バルブ工業会事務局からのお願い～

地震、台風などの災害による会社社屋への被害や、製品の製造作業中に死傷者がでる事故等が発生した場合には、速やかに当会宛にご報告をお願いいたします。

（報告の目安）

- ・従業員、作業員等に死傷者が生じた災害または事故
- ・会社の生産活動に支障を及ぼした災害または事故

災害、事故によっては、国が必要な対策を講じなければならない場合もあるため、報告の速報性が重要となります。（災害、事故報告の第一報は、分かっている範囲の内容で結構ですので、まずは第一報を速やかにご報告ください。）

提出された「事故、災害報告書」については、内容を確認の上、所管官庁（経済産業省）へ報告いたしますが、当会及び経済産業省が本報告書をもとに対外的に公表することはありません。

※「災害、事故報告書」の様式については、事務局宛にお問い合わせください。

（一社）日本バルブ工業会

TEL：03-3434-1811 Mail：info@j-valve.or.jp

2018年1月30日発行 ■■■ JVMA 通信No.27 ■■■

（発行元）一般社団法人 日本バルブ工業会

TEL：03-3434-1811 FAX：03-3436-4335

E-mail：info@j-valve.or.jp

